



子ども達と共に リサイクル活動



笠松双葉幼稚園では、今年度から牛乳パックのリサイクルを始めました。給食の後、幼稚園児が自分の牛乳パックの両端をハサミで切り、水洗いをして、まとめて業者さんにお返しをします。ある程度たまったらいレットペーパーに替えてもらう予定です。

実は、もう何年も前から、子ども達とともに、この活動をしたかったと思っていました。しかし、果たして、幼稚園児が牛乳パックをきちんと切れるのだろうか、その意図がわかるのだろうか、と心配が先に立ち、なかなか踏みきれないでいました。いざ、始

めてみると、子ども達は上手にハサミを使い、楽しそうに、牛乳パックを切っています。職員も一緒に切りながら、「今までゴミになっていた牛乳パックが、トイレットペーパーに変身するんやよ」と話しています。その話に興味を持ち、また、おうちのかたにリサイクル活動の質問をしたり、一緒に調べたりしているようです。子ども達は一生懸命、リサイクル活動を理解しようとしています。「子ども達にはできないのではな

いか」と心配していましたが、私達、大人の方が教えてもらうことでいっばいでした。

次は子ども達とともにゴミの分別活動を行いたいと思います。牛乳パックだけでなく、多くのゴミをきちんと分けられ、ゴミにならず、また使えるものになることに興味を持ち、大人も、子どもも楽しくリサイクル活動をしていきたいです。そして、その輪が、家庭へ、地域へ、学校へと広がっていくことを期待しています。

笠松双葉幼稚園
指導主事 志智恵子



牛乳パックを切って洗ってリサイクルする園児

寄附により学校備品が整備されました

松枝小学校・笠松中学校

今年の五月と七月に羽島梱包(株)代表取締役会長 岩田市蔵さんから、松枝小学校の太鼓整備に二百万円、笠松中学校の部活動備品整備に二百五十万円の寄附が町にありました。

その寄附で、松枝小学校では、長胴太鼓や沖繩太鼓など、笠松中学校では、クラリネットやトランペットなどのブラスバンド部の楽器とソフトテニス部の備品を購入しました。

寄附による整備の完了を受け、松枝小学校では、九月二十二日の運動会に岩田さんを招待し、六年生全員によるダイナミックな踊りと和太鼓や沖繩太鼓の演奏を組み合わせたまつこ太鼓を披露しました。このまつこ太鼓は、六月から笠松清流太鼓のかたの指導を受け毎週練習に励んできました。運動会でのみんなの息の合った演奏をご覧になり、岩田さんも大いに喜ばれました。

また、笠松中学校では十月十日に岩田さんを同校体育館



新しい楽器で演奏する笠中生徒